

SHARP®

SH-U01

取扱説明書

はじめに

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ かんたんセットアップマニュアル(本体付属品)

本端末とパソコンやiPhoneなどの接続方法について説明しています。

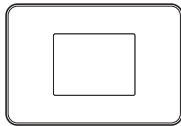
■ 取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

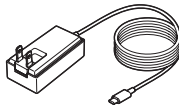
当社のホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「SH-U01」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、製品出荷時の内容を記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

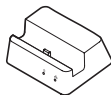
本体付属品



本体



ACアダプター



クレードル



SIM取り出しツール(試供品)



かんたんセットアップ
マニュアル



ご利用にあたっての注意事項



無線LAN初期設定シール

目次

本端末のご利用について	2
SH-U01の主な機能	3
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
取り扱い上のご注意	10

ご使用前の確認

各部の名称と機能	13
SIMカード	14
充電	16
電源を入れる／切る	18
画面の見かた	19
タッチパネルの使いかた	20
英数字と記号の入力	20

セットアップ

セットアップについて	22
Wi-Fiで接続／通信する	24

各種設定(Webブラウザ)

設定ツールについて	36
接続端末	39
設定	40
端末情報	51
ネットワークモニターモード	51

各種設定(本体メニュー)

本端末の本体メニューについて	52
データ通信量	53
公衆無線LAN	54
設定	55

付録／索引

メニュー一覧	58
トラブルシューティング(FAQ)	65
保証とアフターサービス	68
ソフトウェア更新	69
主な仕様	70
本製品の比吸収率(SAR)について	71
Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)	72
輸出管理規制	73
知的財産権について	73
索引	74

本端末のご利用について

- 本端末は、日本国内でのみ使用可能です。
- 本端末は、5G・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であつてもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[>]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に設定された内容は、定期的にメモを取ったり、パソコンなどの外部記録媒体に保管してください。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあつても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 紛失に備え[画面ロック]のパスワードを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- サービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販の周辺機器(USB HUBや変換プラグなど)については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

SH-U01の主な機能

本端末は、第5世代移動通信システム(5G)に対応しています(5Gの電波帯である「Sub6(6GHz未満の周波数帯)」に対応)。

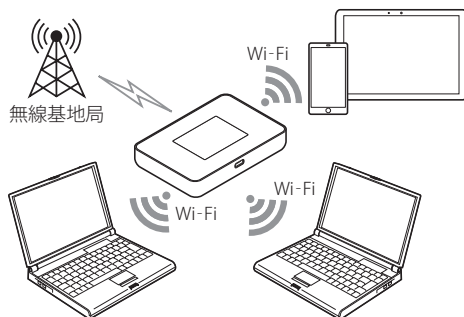
本端末は、Wi-Fi機能により複数のパソコンなどのWi-Fi対応機器と同時に接続できます。また、USB接続ケーブルでパソコンと接続してデータの送受信をしたり、クレードルを使用して有線ルータとして使用したりできます。

● 通信速度について詳しくは、「主な仕様」(P.70)をご参照ください。

■ Wi-Fi接続

本端末とWi-Fi対応機器(パソコンなど)を接続し、データの送受信ができます。

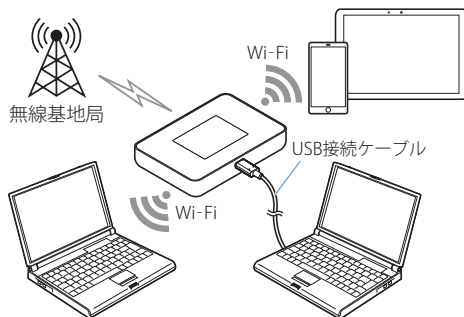
本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで接続できます。



■ USB接続ケーブルで接続／通信

本端末とパソコンなどをUSB接続ケーブルで接続し、データの送受信ができます。

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器をWi-Fi接続することができます。



■ QRコード & WPS接続対応

本端末にQRコードを表示して、スマートフォンなどのカメラで読み取るとかんたんにWi-Fi接続することができます。

また、WPS接続に対応しているので、WPSキーによる接続ができます。

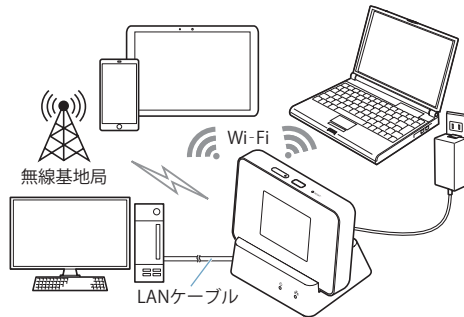
はじめて接続するWi-Fi対応機器でも、戸惑わずすぐ接続して使えます。

■ 有線LANポート搭載クレードル

付属のクレードルに市販のLANケーブルでパソコンなどと接続すると、データの送受信ができます。Wi-Fi接続とLAN接続を同時に利用することもできます。

LANケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器をWi-Fi接続することができます。

- クレードルは、必ず付属のACアダプターを使って、コンセントに接続してお使いください。



安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、ACアダプター、クレードル、SIMカード、SIM取り出しツール、USB3.0ケーブルA to Cの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具やパソコンなどの機器のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末を引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、スプレー、ガスなど)や燃えやすいもの(紙、ビニールなど)、熱に弱いものの近くで使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発熱、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
 - USB接続ケーブルを接続機器から抜く。
 - 本端末や接続機器の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。SIMカードトレイやSIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

データ通信など、継続しての使用や充電中は、本端末やACアダプターの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のSIMカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、SIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切ってください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部を破損した際には、割れた部分や露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などに付けないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、「お問い合わせ先」までお問い合わせいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

SIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。

SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがとなります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
[P.9「材質一覧」]



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプター、クレードル、USB3.0 ケーブルA to Cの取り扱いについて



警告



禁止

ACアダプターやUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターやUSBケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプターを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターやUSBケーブルのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

付属のACアダプター: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグ、USBプラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプターのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。

ACアダプターのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にACアダプターやUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



コンセントにつないだ状態でACアダプターに継続して触れないでください。やけどなどの原因となります。

SIMカードの取り扱いについて

⚠注意



SIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

試供品(SIM取り出しツール)の取り扱いについて

⚠警告



SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂+PC樹脂／ハードコート
外装	PC樹脂／塗装、ハードコート、印刷
電源キー	PC樹脂／塗装、ハードコート
USB Type-C®接続端子の周囲(内側側面)	ステンレス／ニッケルメッキ
SIMカードトレイ(外装部)	PC樹脂／塗装、ハードコート
SIMカードトレイ	PC樹脂+ステンレス／塗装、ハードコート

ACアダプター

使用箇所	材質／表面処理
ACアダプター本体(筐体部)	PC樹脂／シルク印刷
ACアダプター本体(プラグ樹脂部)	PBT樹脂
ACアダプター本体(プラグ金属部)	黄銅／ニッケルメッキ
ACアダプター本体(プラグ耐トラ部)	PA66
ケーブル	PVC
USB Type-Cプラグ(筐体部)	PVC
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス／ニッケルメッキ

クレードル

使用箇所	材質／表面処理
上キャビネット	PC樹脂+ABS樹脂／印刷
USB Type-Cプラグ(樹脂部)	LCP樹脂／なし
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス／ニッケルメッキ
電源ランプ	PC樹脂／なし
Ethernetランプ	ランプPC樹脂／なし
下キャビネット	PC樹脂+ABS樹脂／なし
Ethernetポート(端子部)	リン青銅／金メッキ
Ethernetポート(金属部)	ステンレス／なし
Ethernetポート(樹脂部)	ポリアミド／なし
電源用USB Type-C接続端子(樹脂部)	LCP樹脂／なし
電源用USB Type-C接続端子(金属部)	ステンレス／ニッケルメッキ
ゴム底	シリコンゴム／なし
規格銘板ラベル	PET樹脂／印刷

SIM取り出しツール

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス／なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)をかけないでください。**
本端末、アダプタ、SIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらのお濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」(P.68)をご確認ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかけられないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

本端末についてお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に設定された内容は、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万一が設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差し込み、差し込んだ状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常はSIMカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。「お問い合わせ先」へご相談ください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・ 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- **本端末に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。**
リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。



ACアダプターについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- 充電中にACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

SIMカードについてのお願い

- SIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のI Cカードリーダー／ライターなどにSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- I C部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
I C部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様自身で、SIMカードに登録されたデータは、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- I Cを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- SIMカードを落したり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- SIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- SIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面を左にスワイプ▶[端末情報]と操作すると確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■■■■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのWi-Fi対応機器には接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯（W52／W53／W56）の3種類の帯域を利用することができます。

- ・ W52 (5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- ・ W53 (5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- ・ W56 (5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。

また、USB接続ケーブルを利用してUSB接続やクレードルを利用して有線LAN接続で通信していただくことも可能です。5.2GHz／5.3GHz帯無線LAN（W52／W53）の屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

Wi-Fi 5GHz帯のW53／W56利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます（DFS機能）。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認くださいことができます。

ホーム画面を左にスワイプ▶[端末情報]

試供品（SIM取り出しツール）についてお願い

- SIM取り出しツールを、SIMカードトレイ取り出し用の穴、RESETボタンの穴以外の穴などに挿入しないでください。

故障、破損の原因となります。

- 無理な力がかからないように使用してください。

故障、破損の原因となります。

- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。

- SIM取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。

故障、破損の原因となります。

- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。

携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面を左にスワイプ▶[端末情報]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、操作することは、罰則の対象となります。

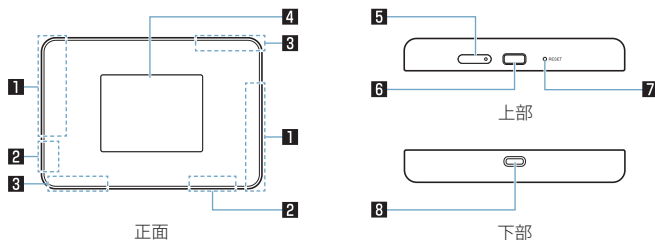
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

■ 本体



1 5Gアンテナ※

2 Wi-Fiアンテナ※

3 5Gアンテナ※

4 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.20「タッチパネルの使いかた」

5 SIMカードトレイ

- SIMカードについてはP.14「SIMカード」

6 □:電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使います (P.18「電源を入れる／切る」)。

7 RESETボタン

- 本端末の設定内容を製品出荷時の状態に戻すことができます。
- 設定ツールの操作でも製品出荷時の状態に戻すことができます (P.50「オールリセット」)。

8 USB Type-C接続端子

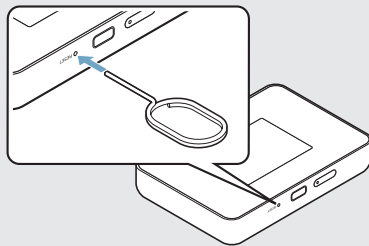
- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.16「充電」、P.35「USB接続ケーブルで接続／通信する」

※ 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

RESETボタンについて

- RESETボタンを押すときはSIM取り出しツール(試供品)を利用します。
- 本端末の設定内容を製品出荷時の状態に戻すときは、本端末の電源が入っている状態で、SIM取り出しツールの先端をRESETボタンの穴に差し込む ▶ RESETボタンを2秒以上押す ▶ [OK]と操作します。本端末が自動的に再起動し、設定が製品出荷時の状態に戻ります。



本端末の強制終了について

- □ (電源キー) を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切るため、設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ SIM取り出しツール(試供品)

SIMカードの取り付け／取り外しを行うときやRESETボタンを押すときに使用します。

SIMカード

SIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。本端末に取り付けることで、データ通信を利用できます。

- SIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.16「PINコードについて」)。
- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。本端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- 取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

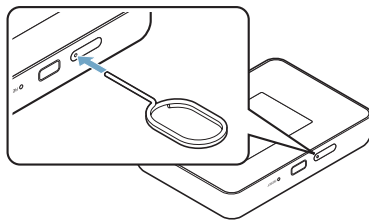
IMEI情報(端末識別番号)について

- SIMカードトレイにIMEI情報が刻印されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI情報が必要となる場合にご確認いただくことができます。

■ 取り付けかた

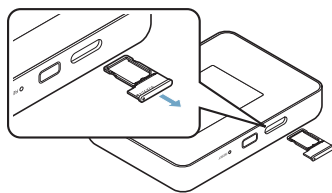
1 SIM取り出しツールの先端をSIMカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

- カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。



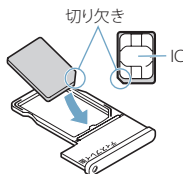
2 SIMカードトレイを本体から引き出す

- カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



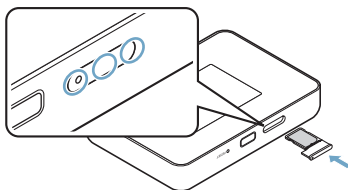
3 SIMカードのIC面を下向きにして、SIMカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- SIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- SIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



4 ディスプレイ面を上向きにして、SIMカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損するおそれがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。



- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



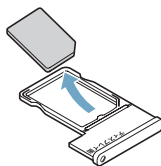
ペーパークリップの例

■ 取り外しかた

- SIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「取り付けかた」(P.14)をご参照ください。

1 SIMカードトレイを取り外す

2 SIMカードをSIMカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、SIMカードトレイを本体に取り付ける

- SIMカードは、直接本体に差し込まないでください。
カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- SIMカードやSIMカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でSIMカードトレイを引き出すと、取り付けられているSIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- SIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとSIMカードが破損したり、SIMカードトレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- 取り外したSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

PINコードについて

PINコードとは、SIMカードの暗証番号です。

第三者による本機の無断使用を防ぐために使います(製品出荷時は「9999」に設定されています)。

- 電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように(SIMカードロックを設定)することができます。

PINコードの入力間違いについて

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。

■ PINロックを解除するとき

裏表紙のお問い合わせ先で、「PINロック解除コード(PUKコード)」をご確認ください。

- PUKコードの入力を10回間違えると、SIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、SIMカードをお求めになったご販売店にお問い合わせください。

充電

製品出荷時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安については、[P.70](#)「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[]が重なって表示されます)。
- 電源を入れたまま長時間充電した場合は、次のような現象が起こることがあります。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。
このような場合、付属のACアダプターは再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。その際、電池保護のため電池残量が減ることがありますが、故障ではありません。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

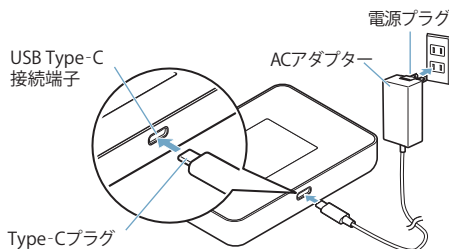
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がご利用を開始された時期の頃に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」([P.68](#))をご確認ください。



ACアダプターで充電

付属のACアダプターを使って充電する場合は、次の操作を行います。必ず付属のACアダプターをご使用ください。

- 1 ACアダプターのType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプターの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



- 3 充電が完了したら、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- ACアダプターは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプターのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

パソコンに接続して充電

本端末とパソコンをUSB3.0ケーブルA to Cなどで接続すると、本端末を充電することができます。

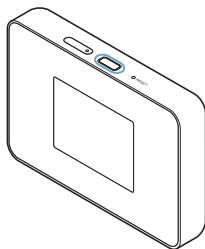
- パソコンなどとの接続方法については「P.35「USB接続ケーブルで接続／通信する」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 □ (電源キー) (2秒以上)

- はじめて本端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(※P.18「初期設定」)。



■ 電源を切る／再起動する

1 □ (電源キー) (2秒以上)

2 [電源をオフ]／[再起動]

■ ディスプレイの表示／非表示

□ (電源キー) を押したときや本端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに□ (電源キー) を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロックを解除する

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[>] を右にスライドすると、ロックが解除されます。



初期設定

はじめて本端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。

- 初期設定では、ソフトウェア更新の設定を行います。

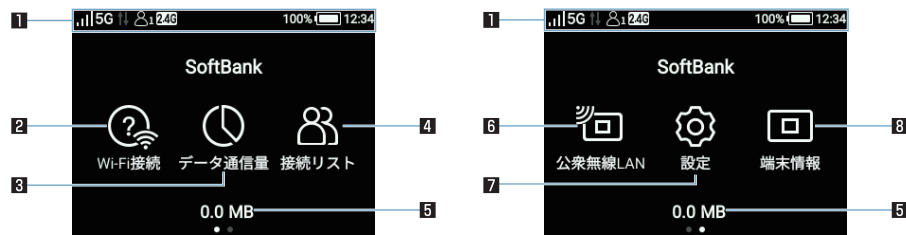
1 初期設定(ようこそ)画面が表示されたら[スタート]

- [スキップ]を選択すると[ソフトウェア更新]の[自動更新]はONに設定されます。

2 [自動更新]の[>] (ON)／[>] (OFF)を選択▶[同意して次へ]

画面の見かた

■ ホーム画面



■ ステータスアイコン表示エリア

- ~ : 電波状態レベル表示 (5段階)
 - ・データ受信中は 、データ送信中は が白く表示されます。
 - ・5G使用可能時は、電波マークの右側に [5G] が表示されます。また、圏外の場合は、電波マークの右側に [圏外] が表示されます。
- : 接続中機器の台数表示
- / / : [Wi-Fiモード] 表示 (☞ P.47「Wi-Fiモード」)
- : DFSチェック表示 (☞ P.12「5GHz機器使用上の注意事項」)
 - ・気象レーダーなどとの電波干渉を確認中に表示されます。
- : USB接続表示
- : Ethernetポート接続表示
- : 公衆無線LAN接続表示
- : 通信速度制限表示
 - ・高温によって通信速度が制限されている場合に表示されます。
- : 機能制限表示
 - ・高温によって機能が制限されている場合に表示されます。
- / : ソフトウェア更新情報あり表示 / ソフトウェア更新中表示 (☞ P.69「ソフトウェア更新」)
- ~ : 電池残量表示
 - ・電池残量マークの左側にパーセント表示します。
 - ・充電中は電池マークに が重なって表示されます。
 - ・電池温度が高くなっている場合は電池マークが赤色 () で表示されます。
 - ・電池温度が高くなったことによる充電制限中は電池マーク内の線が斜めに表示されます ()。
 - ・充電中にエラーが発生した場合は「！」が重なって表示されます。

■ Wi-Fi接続 (☞ P.24「Wi-Fiで接続／通信する」)

- 画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

■ データ通信量 (☞ P.53「データ通信量」)

- データ通信量について設定します。

■ 接続リスト

- 本端末に接続中の機器を確認できます。

■ データ通信量表示 (☞ P.53「データ通信量」)

- 利用したデータ通信量が表示されます。

■ 公衆無線LAN (☞ P.54「公衆無線LAN」)

- 公衆無線LANの接続について設定できます。

■ 設定 (☞ P.55「設定」)

- 本端末の各機能を設定できます。

■ 端末情報

- IMEI情報やソフトウェアバージョンなど、本端末の情報を確認できます。

- 表示されるデータ通信量は目安であり、実際の通信量とは異なる場合があります。
- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

タッチパネルの使いかた

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物をタッチパネルに乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ スライド(スワイプ)

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールできます。

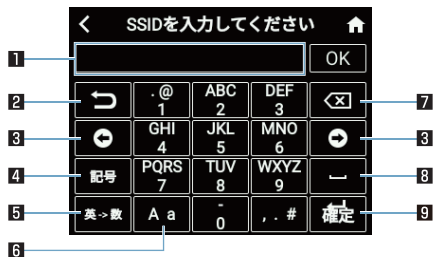


英数字と記号の入力

入力先によって、英数記号キーボードや数字キーボードが表示されます。

■ 英数記号キーボード

英数記号キーボードでは1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを繰り返しタッチして入力する文字を選択します。



英数記号入力



数字記号入力

1 入力欄

2 逆トグルキー

- 入力した文字から逆回しで文字を入力します。

3 カーソルキー

- カーソルを移動します。

4 記号キー

- 記号リストを表示し、記号を入力します。

[] / [] をタッチすると記号リストが拡大/縮小されます。

5 英数切替キー

- 英数記号入力・数字記号入力を切り替えます。

6 大文字・小文字キー

- 直前に入力した英字の大文字・小文字を切り替えます。

7 削除キー

- カーソルの左側の文字を削除します。

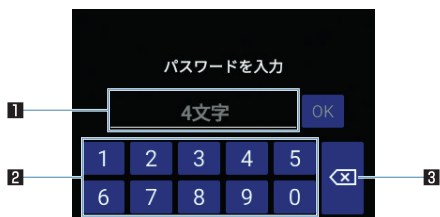
8 スペースキー

- スペースを入力します。

9 確定キー

- 入力中の文字を確定します。

■ 数字キーボード



1 入力欄

- パスワードなどを入力した場合は「*」が表示されることがあります。

2 キーボード

- 数字入力するキーボードです。

3 削除キー

- 入力した数字を削除します。

セットアップ

セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fi機能を使う方法、USB接続ケーブルを使う方法、およびクレードルを使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧ください、セットアップを進めてください。

いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をONにするだけで、自動的に接続されます。

Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで接続できます。

ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、設定ツールをご利用ください（[P.36「設定ツールについて」](#)）。

USB接続ケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

USB3.0ケーブルA to Cで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器と合わせて同時に17台（Wi-Fi: 16台／USB: 1台）まで接続できます。

クレードルを使用してデータの送受信を行う場合

付属のクレードルに市販のLANケーブルと付属のACアダプターを接続すると、充電しながら使用できます。クレードルを使用してLANケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器と合わせて同時に17台（Wi-Fi: 16台／有線LAN: 1台）まで接続できます。

セットアップに必要な情報について

- 本端末にWi-Fi対応機器を接続するとき、以下の情報が必要になります。付属の『無線LAN初期設定シール』に、本端末の初期設定値が記載されておりますので、必要に応じてご確認ください。
また、次の操作で本端末のディスプレイに情報を表示することができます。
ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続]
 - SSID
ネットワーク上での本端末の名前です。
SSID A: SH-U01a-XXXXXX
SSID B: SH-U01b-XXXXXX
 - パスワード
Wi-Fi対応機器によっては、「Wi-Fiパスワード」、「セキュリティキー」のように表記されている場合もありますが同じことを意味します。
- セキュリティを確保するため、製品出荷時に設定されているSSID、およびパスワードを変更してお使いになるようおすすめします。

- セットアップ（本端末と接続）後は、設定ツールを使ってご利用のネットワークを設定してください（[P.40「設定」](#)）。

有線LAN接続について

- 付属のクレードル以外の市販の周辺機器（USB HUBや変換プラグなど）を使用した有線LAN接続については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、ホームページをご確認ください。

- パソコンは最新状態にして、お使いください。
- USB HUB(モニターやキーボードなどにあるUSBポート含む)を経由しての動作は保証いたしかねます。
- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また対応の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Wi-Fi接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac/ax(5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n/ax(2.4GHz帯)に対応しているWi-Fi対応機器と接続できます。

- Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問い合わせください。

■ USB接続できる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット／64ビット)
- Windows 8.1※(32ビット／64ビット)
- macOS Big Sur 11.0、11.1、11.2(64ビット)
- macOS Catalina 10.15(64ビット)
- macOS Mojave 10.14(64ビット)

※ Windows RTは非対応となります。

- USB2.0以上に対応している機器をUSB接続できます。
最大伝送速度は、USB3.0接続時に最大5Gbps、USB2.0接続時に最大480Mbpsとなります。
- USB接続中に本端末は充電されます。

■ 本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS※1は以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット／64ビット)
- Windows 8.1※2(32ビット／64ビット)
- macOS Big Sur 11.2.1(64ビット)
- macOS Catalina 10.15.7(64ビット)
- macOS Mojave 10.14.6(64ビット)
- Android
- iOS

※1 対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証していません。

※2 Windows RTは非対応となります。

Wi-Fiで接続／通信する

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンなどのWi-Fi対応機器と接続し、データの送受信ができます。

- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは、携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているWi-Fi対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

————— Wi-Fi対応機器 —————

2 接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

————— 本端末 —————

3 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[WPS]



4 [無線LAN端末と接続]



————— Wi-Fi対応機器 —————

5 WPSボタンを押す

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- セットアップの完了まで約2分かかります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。
- WPS機能を利用した場合は、[SSID A]のみ接続可能です。[SSID B]に接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください(☞P.25「アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)」)。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

——— 本端末 ———

1 □(電源キー)(2秒以上)

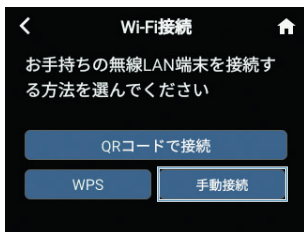
- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



——— Wi-Fi対応機器 ———

4 接続設定画面を表示し、アクセスポイントを検索する

- Wi-Fi対応機器でWi-Fi機能をONにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

5 アクセスポイントの一覧から、本端末のSSIDが表示されている項目を選択する

6 パスワードを入力し、設定を保存する

- Wi-Fi対応機器によっては、セキュリティ(暗号化方式)の選択画面が表示されることがあります。本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]に合わせて選択してください(☞P.46「Wi-Fi設定」)。

Windowsを接続する

ここでは、Windows 10で、マウスを使用して操作した場合を例に説明します。

タッチパネルなどで操作する場合など、詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[WPS]



3 [無線LAN端末と接続]

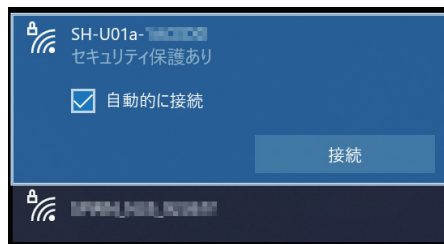


————— パソコン —————

4 Wi-Fi機能をONにする

5 タスクトレイのをクリック

6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。
- WPS機能を利用した場合は、[SSID A]のみ接続可能です。[SSID B]に接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください(IEEE P.27「アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)」)。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

————— 本端末 —————

1 □ (電源キー) (2秒以上)

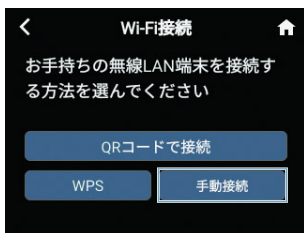
- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ (暗号化方式) が表示されます。
- [SSID B] に接続する場合は、[有効] をONに設定してください。

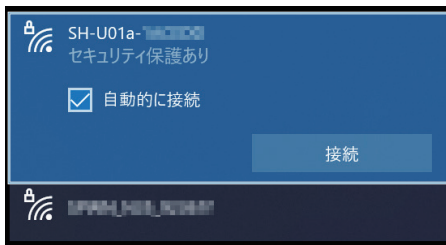


————— パソコン —————

4 Wi-Fi機能をONにする

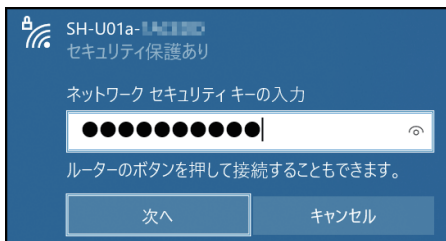
5 タスクトレイのをクリック

6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



7 パスワードを入力し、[次へ]をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



Macを接続する

ここでは、macOS Big Sur 11.6の場合を例にして説明します。お使いのバージョンによって画面が異なる場合があります。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

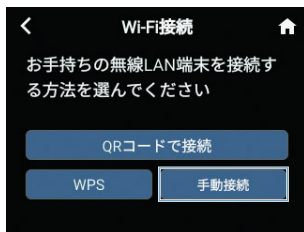
- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

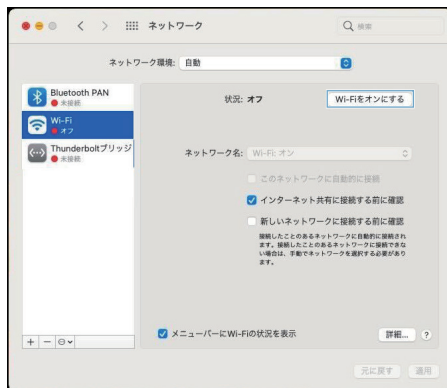
- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



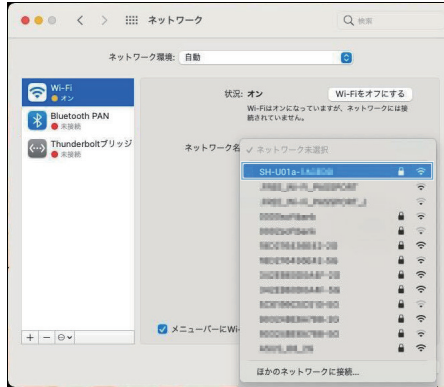
————— パソコン —————

4 アップルメニューから[システム環境設定...]をクリックし、[ネットワーク]をクリック

5 [Wi-Fi]をクリックし、[Wi-Fiをオンにする]をクリックしてWi-Fi機能をONにする



6 [ネットワーク名]のプルダウンリストから本端末のSSIDを選択する



7 パスワードを[パスワード]欄に入力し、[このネットワークを記憶]にチェックマークを付け、[接続]をクリック



Android搭載端末を接続する

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。
詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

ここでは、Android 8.1の場合を例に説明しています。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

————— Android —————

2 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

3 [Wi-Fi]をONにする

4 [Wi-Fi 設定]▶[詳細設定]▶[WPSプッシュボタン]

————— 本端末 —————

5 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[WPS]



6 [無線LAN端末と接続]



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断されることがあります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。
- WPS機能を利用した場合は、[SSID A]のみ接続可能です。[SSID B]に接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください(☞P.31「アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)」)。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。
ここでは、Android 11の場合を例に説明しています。

——— 本端末 ———

1 □(電源キー)(2秒以上)

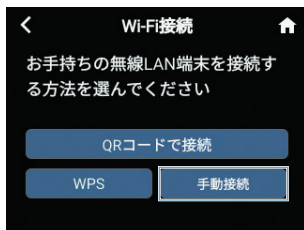
- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



——— Android ———

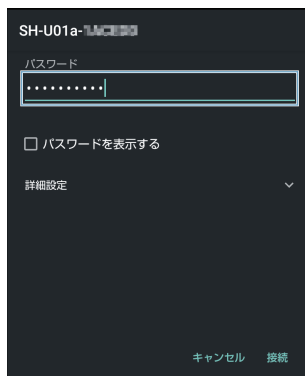
4 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

5 [Wi-Fiの使用]をONにする

6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



7 パスワードを正しく入力▶[接続]



本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで、自動的に本端末と接続できます。
ここでは、Android 11の場合を例に説明しています。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[QRコードで接続]



- 本端末にQRコードが表示されます。

————— Android —————

3 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

4 [Wi-Fiの使用]をONにする

5 [⚙️]



6 カメラ機能を利用して本端末に表示されているQRコードを読み取る▶画面に従って操作する

- 本端末と接続されます。

iPhone/iPod touch/iPadを接続する

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

ここでは、iPhone(iOS 15.3)を使用した場合を例にして説明します。

——— 本端末 ———

1 □(電源キー)(2秒以上)

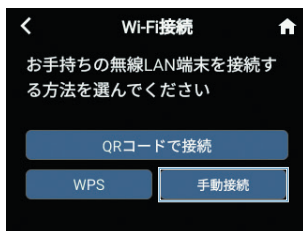
- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

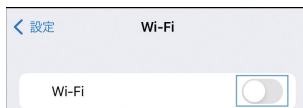
- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



——— iPhone ———

4 ホーム画面で[設定]▶[Wi-Fi]

5 [Wi-Fi]をONにする



6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



7 パスワードを正しく入力▶[接続]



本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで、自動的に本端末と接続できます。
ここでは、iPhone(iOS 15.3)を使用した場合を例にして説明します。

————— 本端末 —————

1 □(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[QRコードで接続]



- 本端末にQRコードが表示されます。

————— iPhone —————

3 カメラ機能を利用してQRコードを読み取る▶画面に従って操作する

- 本端末と接続されます。

USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末は、USB3.0ケーブルA to Cで直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

■ パソコンに本端末を取り付ける

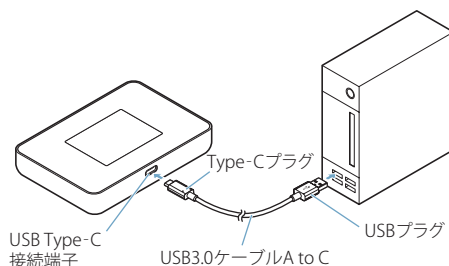
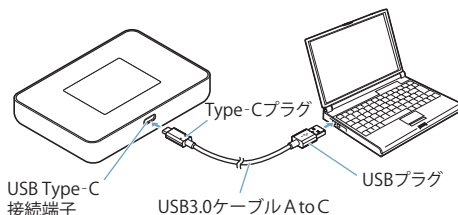
1 □ (電源キー) (2秒以上)

- 本端末の電源が入り、Wi-Fi機能がONとなります。

2 SIMカードを取り付けた本端末のUSB Type-C接続端子に、USB3.0ケーブルA to CのType-Cプラグを水平に差し込む

3 USB3.0ケーブルA to CのUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する

- パソコンに接続すると、USB接続機能が起動し、自動的にインターネットに接続されます。パケット通信 (課金対象) が発生しますのでご注意ください。



■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 USB3.0ケーブルA to Cを本端末とパソコンから水平に抜く

- データ通信中にUSB3.0ケーブルA to Cをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ (サスペンド / レジューム / スリープ)、または休止 (ハイバネーション) を行くと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
- 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。

各種設定(Webブラウザ)

設定ツールについて

本端末と接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本端末の各種機能を設定できます。ここではWi-Fi接続した場合を例にしています。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。

- 本端末との接続方法については「P.22「セットアップ」」
- Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、設定ツールで「[MACアドレスフィルタリング]」や「[Wi-Fi設定]」の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。また、USB接続ケーブルを利用してUSB接続やクレードルを利用して有線LAN接続し、設定ツールで変更することもできます。
- 設定ツールを同時に複数のパソコンおよび携帯端末で表示／設定できません。
- 本端末でも一部の機能を設定できます（「P.52「各種設定(本体メニュー)」」）。
- 本端末のディスプレイが非表示(消灯)の場合、またはタッチパネルのロック画面表示中の場合に設定ツールを利用できません。
 - ・ 設定ツールで設定中に本端末にタッチパネルのロック画面以外の画面を表示すると、設定が中断され、ログアウトする場合があります。
 - ・ 本端末のディスプレイを非表示後、すぐに設定ツールにログインできない場合があります。しばらく待ってからログインしてください。
- 製品出荷時の設定では、[SSID B]にWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から設定ツールを表示できません。[SSID A]にWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末、または有線LAN接続しているパソコンから設定ツールを表示してください。
 - ・ [SSID B]にWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から、設定ツールを表示する場合は「[SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス]」を「許可」に設定してください（「P.46「基本設定」」）。

対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

Windowsの場合

- Microsoft Edge 89以上※
- Microsoft Internet Explorer 11以上※
- Google Chrome™ 88以上

※ 対応するMicrosoft Internet ExplorerやMicrosoft Edgeのバージョンでも、ドキュメントモードが古いモードの場合は、表示が崩れることがあります。ドキュメントモードが最新となっているかをご確認ください。ドキュメントモードの詳細については、マイクロソフト社にお問い合わせください。

Macの場合

- Safari 14.0以上
- Google Chrome 88以上

Android搭載端末の場合

- Google Chrome 88以上

iPhone/iPod touch/iPadの場合

- Safari 14.0以上

設定ツールを表示する

■ Windows／Macの場合

1 パソコンを起動し、本端末と接続

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「(本端末のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本端末の製品出荷時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています (P.42「DHCPサーバー」)。
- 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

3 [ログイン]をクリック▶パスワードを入力▶[ログイン]をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- 製品出荷時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)の下6桁の数字に設定されています。
 - ・ 本端末のIMEI情報は付属の『無線LAN初期設定シール』や本体メニューの[端末情報]をご確認ください。
- パスワードをIMEI情報の下6桁の数字でご利用いただくと、ログイン前に、パスワードの変更が必要となります。画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。
パスワードを登録する場合、次の条件があります。
 - 8～32文字の半角英数字／記号
 - 英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める

終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト] ▶ [はい]を順にクリック

■ Android搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadの場合

1 Android搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadと本端末を接続

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「(本端末のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本端末の製品出荷時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています (P.42「DHCPサーバー」)。
- 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

3 [ログイン]▶パスワードを入力▶[ログイン]

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- 製品出荷時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)の下6桁の数字に設定されています。
 - ・ 本端末のIMEI情報は付属の『無線LAN初期設定シール』や本体メニューの[端末情報]をご確認ください。
- パスワードをIMEI情報の下6桁の数字でご利用いただくと、ログイン前に、パスワードの変更が必要となります。画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。
パスワードを登録する場合、次の条件があります。
 - 8～32文字の半角英数字／記号
 - 英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める

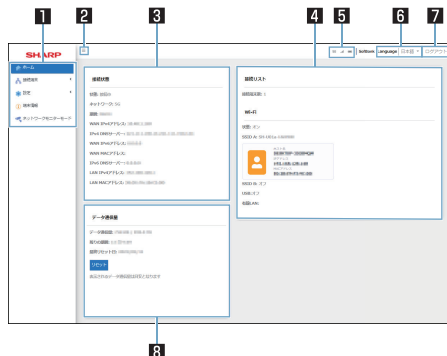
終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト] ▶ [はい]と操作します。

- 登録／変更／追加／保存した場合、適用された旨のメッセージやWi-Fi接続が切断されるなどの確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- 約10分間操作がない場合は自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

設定ツール画面の見かた

設定ツールのホーム画面には、各機能の設定／情報画面やアイコンメニューが表示されます。
ここでは、パソコンでの操作を例としています。



1 設定メニュー

2 設定メニュー表示／非表示

3 接続状態

- 接続ネットワークや接続時間、各種アドレスなどを表示します。

4 接続リスト

- 各SSID、USBおよび有線LANに接続している機器の台数などを表示します。

5 ステータスアイコン表示エリア

- 信号強度アイコン：レベル表示(5段階)
 - ・ 5G使用可能時は、電波状態表示の左側に[5G]が表示されます。
- Wi-Fiアイコン：公衆無線LAN接続表示
 - ・ 公衆無線LAN接続時は、電波状態表示の左側に[Wi-Fi]が表示されます。
- USBアイコン：USB接続表示
- Ethernetポートアイコン：Ethernetポート接続表示
- バッテリーアイコン：電池レベル状態
 - ・ 充電中は[充電中]が表示されます。

6 Language

- 表示言語を切り替えます。
- 本体メニューの[Language Setting]も自動的に切り替わります。(参照P.56「Language Setting」)

7 ログアウト

8 データ通信量

- 利用したデータ通信量が表示されます。データ通信量の最大通信量(目安値)やリセットまでの期間、最終リセット日も確認できます。
- [リセット]をクリックすると、データ通信量をリセットします。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。

接続端末

本端末に接続している機器の確認やMACアドレスフィルタリング(接続を許可する機器をMACアドレスによって制限する機能)について設定します。

- Wi-Fi接続および有線LAN接続する機器に対して設定できます。USB接続する機器に対しては設定できません。
- MACアドレスフィルタリングを利用する場合は、必ず接続を許可する機器のMACアドレスを追加した後で、[有効]に設定してください。設定ツール画面を表示している機器が許可対象になっていない場合は、接続が拒否され、設定を変更できなくなります。

接続リスト

1 設定ツール画面で[接続端末] ▶ [接続リスト]を順にクリック

- 現在接続中の端末の情報が接続した順に一覧表示されます。
 - ・ ホスト名を変更: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック (使用できる文字は64文字までの半角英数字/アンダーバー(_) /ハイフン(-)です。)
 - ・ [MACアドレスフィルタリング]にMACアドレスを追加: [接続許可リストに追加] ▶ [OK] ▶ [OK]をクリック

MACアドレスフィルタリング

■ MACアドレスを追加する

1 設定ツール画面で[接続端末] ▶ [MACアドレスフィルタリング]を順にクリック

2 [MACアドレス]の[追加]をクリック

3 [フィルター名]欄/[MACアドレス]欄を入力 ▶ [OK]をクリック

- 接続を許可する機器のMACアドレスを10件まで登録できます。
- 追加したMACアドレスは一覧表示されます。
 - ・ 追加したMACアドレスを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [OK]をクリック
 - ・ 追加したMACアドレスを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

■ MACアドレスフィルタリングの有効/無効を切り替える

1 設定ツール画面で[接続端末] ▶ [MACアドレスフィルタリング]を順にクリック

2 [MACアドレスフィルタリング]の[有効]/[無効]をクリック

3 [適用]をクリック

設定

モバイルネットワーク設定

モバイルネットワークやAPN/DNNプロファイルについて設定します。

■ ネットワーク設定

モバイルネットワークで使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク設定]を順にクリック

2 [ネットワーク設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」
- ネットワークモード: ネットワークモードを選択します。
- ネットワーク検索: 通信事業者の検索方法を設定します。

4 [適用]をクリック

■ APN/DNNプロファイル設定

APN (アクセスポイント名)、DNN (データネットワーク名)を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク設定]を順にクリック

2 [APN/DNNプロファイル設定]をクリック

3 [新規]をクリック

4 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」
- プロファイル名: プロファイル名を設定します。
- APN/DNN名: APN/DNN名を設定します。
- ユーザー名: ユーザー名を設定します。
- パスワード: パスワードを設定します。
- 認証方式: 認証方式を選択します。
- IPタイプ: IPタイプを選択します。

5 [保存]をクリック

- 操作3～5を繰り返しAPN/DNNプロファイルを10件まで登録できます。
- 追加したAPN/DNNプロファイルは一覧表示されます。
 - ・ 追加したAPN/DNNプロファイルを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - ・ 追加したAPN/DNNプロファイルを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

6 [適用]をクリック

- 再起動する旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- 追加したAPN/DNNプロファイルを使用するには、☐をクリックしてAPN/DNNプロファイルを選択し、[適用]をクリックしてください。

公衆無線LAN設定

公衆無線LANに接続し、本端末のパケット通信を利用せずにアクセスポイントとして利用します。

■ 公衆無線LANに接続する

- 公衆無線LANとSSID Aは、5GHzの周波数帯を同時に利用することができません。
- 公衆無線LANを利用している場合は[マルチSSID]機能を利用できません。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [公衆無線LAN設定]を順にクリック

2 [公衆無線LANの利用]の[有効]をクリック

3 [適用]をクリック

- Wi-Fi接続、マルチSSID機能についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [+ネットワークの追加]をクリック

5 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- ネットワーク名: ネットワーク名(SSID)を設定します。
- セキュリティ(暗号化方式): セキュリティを選択します。
- パスワード: 使用するパスワードを指定します。[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA3-SAE(AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定しているときに設定できます。

6 [保存]をクリック

- 操作4~6を繰り返して公衆無線LANのネットワークを10件まで登録できます。
- 追加したネットワークは一覧表示されます。
 - ・ 追加したネットワークを編集:[編集]をクリック▶内容を編集▶[保存]をクリック
 - ・ 追加したネットワークを削除:[削除]▶[はい]を順にクリック
 - ・ 追加したネットワークの表示の優先順を変更:[↑]/[↓]をクリック

7 表示されているネットワークの一覧から、接続するネットワークの[接続]をクリック

- 選択したネットワークにセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力してください。
- [スキャン]をクリックしても接続できるネットワークを一覧表示できます。

- 検出されたネットワークと登録されたネットワークが一覧で表示されます。
- 登録されたネットワークが優先的に表示され、新しく登録したネットワークが一番上に表示されます。
- 未登録のネットワークについては、電波強度が高いものから表示されます。
- 本端末のSSIDは表示されません。

[パスワード]について

- セキュリティ(暗号化方式)を[Open]にしている場合は暗号化についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい]を選択してください。

[スキャン]について

- Wi-Fiがスリープモード(P.56「Wi-Fiスリープ設定」)の場合を除き、通常は定期的にバックグラウンドでスキャンしていますが、[スキャン]をクリックすることですぐにスキャンすることができます。

[セキュリティ(暗号化方式)]について

- セキュリティ(暗号化方式)は、スキャンして接続する場合には変更することはできません。

PIN管理

SIMカードのPINコードについて設定します。PINコードについてはP.16「PINコードについて」

1 設定ツール画面で[設定]▶[PIN管理]を順にクリック

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- PINロック: 電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護するか設定します。
- PINを入力: 現在のPINコードを入力します。

3 [適用]をクリック

■ PINコードの変更

[PINロック]を[有効]に設定しているときのみ変更できます。

1 設定ツール画面で[設定]▶[PIN管理]を順にクリック

2 [PIN変更]をクリック

3 [現在のPINを入力]/[新しいPINを入力]/[新しいPINを再入力]をそれぞれ入力▶[OK]をクリック

接続履歴

接続履歴を保存するか設定します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [接続履歴]を順にクリック
- 2 [接続履歴]の[有効]／[無効]をクリック
- 3 [適用]をクリック

■ 接続履歴の削除

[接続履歴]を[有効]に設定しているときのみ実行できます。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [接続履歴]を順にクリック
- 2 削除する接続履歴を選択
- 3 [削除]をクリック

■ 接続履歴のエクスポート

[接続履歴]を[有効]に設定しているときのみ実行できます。

- 1 設定ツール画面で[設定]→[接続履歴]を順にクリック
- 2 [エクスポート]をクリック

LAN設定

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能やファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

■ DHCPサーバー

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能を設定します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック
- 2 [DHCPサーバー]をクリック
- 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- ホストIPアドレス:本端末のホストIPアドレスを設定します。
- ホストサブネットマスク:ホストサブネットマスクを設定します。
 - ・ [ホストサブネットマスク]を変更する場合は、[DHCP範囲]と一致している必要があります。
- DHCPサーバー:DHCP機能の[有効]／[無効]を設定します。
- DHCP範囲:LAN内の端末に割り当てる開始と終了のIPアドレスを設定します。
- リース時間(分):IPアドレスのリースタイムを設定します。
- DNS設定:DNS機能の種別を選択します。
- プライマリDNS:プライマリDNSを設定します。
- セカンダリDNS:セカンダリDNSを設定します。
- 予約IPアドレス:特定のLAN内の端末(MACアドレス)に固定IPアドレスを割り当てる設定を追加します。
 - ・ 予約IPアドレスは30件まで登録できます。
 - ・ [DHCP範囲]で設定した範囲内のIPアドレスが利用できます。

- 4 [適用]をクリック

- Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。

■ ファイアウォール

ファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)を設定します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック
- 2 [ファイアウォール]をクリック
- 3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- IPアドレスフィルタリング:IPアドレスフィルタリングによるファイアウォール機能の[有効]／[無効]を設定します。
- WANポートPINGブロック:WANポートPINGブロックによるファイアウォール機能の[有効]／[無効]を設定します。

4 [適用]をクリック

- ポートマッピング、ポートトリガー、DMZおよびUPnP機能をご利用時は、ファイアウォール機能のIPアドレスフィルタリングはご利用いただけません。

IPアドレスフィルタリングの詳細設定をする

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアウォールを通過させるかどうかを判断します。

- IPアドレスフィルタリングを利用するには、[設定] ▶ [LAN設定] ▶ [ファイアウォール] ▶ [IPアドレスフィルタリング]を[有効]にしておく必要があります。
- [IPアドレスフィルタリング]を[無効]の状態では[フィルターモード]を変更すると確認画面が表示されます。画面の指示に従って[IPアドレスフィルタリング]を[有効]に設定してください。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [IPアドレスフィルタリング]をクリック

3 [フィルターモード]の[拒否]／[許可]をクリック

- [拒否]を選択すると、追加したルールのパケットを拒否します。[許可]を選択すると、追加したルールのパケットのみ許可します。

4 [適用]をクリック

5 [ルールを追加]をクリック

6 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- IPタイプ:フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。
- プロトコル:ルールを適用するプロトコルを選択します。
- LAN IPアドレス:ルールを適用するLAN側(送信側)端末のIPアドレスを設定します。^{※1}
- LANポート:ルールを適用するLAN側(送信側)ポート番号を設定します。^{※2}
- WAN IPアドレス:ルールを適用するWAN側(送信先)端末のIPアドレスを設定します。^{※1}
- WANポート:ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号を設定します。^{※2}
- 方向:LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアウォールを通過させる方向を選択します。
 - ・[IN]を選択すると、指定したWAN IPアドレスから指定したLAN IPアドレスに対するパケットに適用します。
 - ・[OUT]を選択すると、指定したLAN IPアドレスから指定したWAN IPアドレスに対するパケットに適用します。

7 [保存]をクリック

- 操作5～7を繰り返してIPアドレスフィルタリングのルールを50件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
 - ・追加したルールを編集:[編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - ・追加したルールを削除:[削除] ▶ [はい]を順にクリック

※1 末尾にCIDR値を入力すると、範囲指定することができます。
「192.168.100.0/24」と入力(CIDR値を「/24」と入力)すると、サブネットマスクは「255.255.255.0」となり、範囲指定は、「192.168.100.0～192.168.100.255」になります。

※2 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます(例:100-200)。
ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください(例:*)。

■ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバーやFTPを公開する場合、メッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [ポートマッピング]をクリック

3 [ポートマッピングの利用]の[有効]／[無効]をクリック

4 [適用]をクリック

5 [ルールを追加]をクリック

6 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- ルール名:ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。
- 送信元IPアドレス(任意):ルールを適用する送信元のIPアドレスを設定します。^{※1}
- WANポート:ルールを適用するWAN側(送信元)のポート番号を設定します。^{※2}
- LAN IPアドレス:サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。

- **LANポート**:サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、[WANポート]と同じ値を設定します。^{※2}
- **プロトコル**:ルールを適用するプロトコルを選択します。

7 [保存]をクリック

- 操作5～7を繰り返してポートマッピングのルールを20件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
 - ・ 追加したルールを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - ・ 追加したルールを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

※1 番号間に「/」または「-」を入力すると、範囲指定することができます (例: 24/39、100-200)。

※2 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます (例: 100-200)。

ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください (例: *)。

- [ポートマッピング]の設定は、IPv6には適用されません。

■ ポートトリガー

LAN内の端末が起動ポートにアクセスしたときに、設定したWAN側のポートを一時的に開放します。

- 設定するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [ポートトリガー]をクリック

3 [ポートトリガーの利用]の[有効]／[無効]をクリック

4 [適用]をクリック

5 [ルールを追加]をクリック

6 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」
- **ルール名**:ポートトリガーのルールに任意の名前を付けます。
- **起動ポート**:ポート開放のトリガーにするポート番号を設定します。
- **起動プロトコル**:ポート開放のトリガーにするプロトコルを選択します。
- **オープンポート**:開放するポート番号を設定します。[※]
- **オープンプロトコル**:開放するプロトコルを選択します。

7 [保存]をクリック

- 操作5～7を繰り返してポートトリガーのルールを20件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
 - ・ 追加したルールを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - ・ 追加したルールを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

※ 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます (例: 100-200)。

■ DMZ

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバーを公開したりできるようになります。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [DMZ]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」
- **DMZ**:DMZ機能の[有効]／[無効]を設定します。
- **DMZ IPアドレス**:DMZホストのIPアドレスを設定します。[DMZ]を[有効]に設定しているときに設定できます。

4 [適用]をクリック

■ UPnP

LAN内にある端末同士の接続を簡単に行うことができるようにするUPnP (Universal Plug and Play) 機能について設定をします。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [UPnP]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **UPnP-IGD**:UPnP-IGD機能の[有効]／[無効]を設定します。

4 [適用]をクリック

■ NAT

送信元、または宛先の IP アドレスを、あらかじめ決められたルールに従って別の IP アドレスに変換するNAT機能について設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [NAT]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **NATタイプ**:NATタイプを選択します。
- **TCP NATタイマー(秒)**:TCP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス／ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。
- **UDP NATタイマー(秒)**:UDP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス／ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。

4 [適用]をクリック

[NATタイプ]について

- アドレス制限付きCone、ポート制限付きConeには対応していません。
- 送信元のポート番号はランダム化されません。

NATタイマーについて

- NATタイマーの設定は、Wi-Fi接続および有線LAN接続、USB接続のすべてに反映されます。

■ VPNパススルー

仮想プライベートネットワーク (VPN:Virtual Private Network) 機能の設定を行います。パススルー機能によりVPN通信 (PPTP／L2TP／IPSec) を通過させることができます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [VPNパススルー]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **VPN/パススルー設定**:VPN/パススルー機能の[有効]／[無効]を設定します。

4 [適用]をクリック

- 同時に複数のセッションを接続することはできません。

Wi-Fi設定

■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [基本設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **Wi-Fiの利用**: 本端末のWi-Fi機能の[有効] / [無効]を設定します。
 - 以前に[Wi-Fiモード]を[5 GHz]に設定した状態で[無効]に設定し、再度[有効]に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面などが表示される場合があります。詳しくは「Wi-Fiモード」(P.47)をご参照ください。
- **マルチSSID**: マルチSSID機能の[有効] / [無効]を設定します。
 - 公衆無線LANを利用している場合は[マルチSSID]機能を利用できません。
- **SSID間通信隔離**: SSID AとSSID Bの間で通信を利用するか設定します。
- **接続可能台数**: Wi-Fi機能を利用時のSSID AとSSID Bを合わせた接続可能台数を設定します。
- **端末でSSIDとパスワードを表示する**: 本端末のホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続]と操作したときに、本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)を表示するか設定します。
- **インターフェース**: インターフェース(SSID A、SSID B)を選択します。[マルチSSID]を[有効]に設定しているときに選択できます。
 - [Wi-Fiモード]以下の項目は選択したインターフェースについて設定します。
- **Wi-Fiモード**: Wi-FiモードについてはP.47「Wi-Fiモード」
- **SSID**: ネットワーク名(SSID)を設定します。
- **セキュリティ(暗号化方式)**: セキュリティを選択します。
 - [Enhanced Open (OWE)]は[Open]より本端末とWi-Fi対応機器の間の通信をさらに暗号化します。
 - [Enhanced Open (OWE)]を利用する場合、接続するWi-Fi対応機器が対応している必要があります。
[Enhanced Open (OWE)]に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- **パスワード**: 使用するパスワードを指定します。[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK (AES)]または[WPA、WPA2-PSK (AES+TKIP)]、[WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)]に設定しているときに設定できます。
 - [パスワードを表示]にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。
- **SSIDステルス**: SSIDがWi-Fi対応機器から見えないようにするか設定します。
- **プライバシーバレーター**: 同時に接続しているWi-Fi対応機器同士のアクセスを禁止するか設定します。
- **Wi-Fi暗号化強化(PMF)**: Wi-Fi暗号化強化(PMF)の[有効] / [無効]を設定します。
 - [セキュリティ(暗号化方式)]が[WPA2-PSK (AES)]または[WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)]の場合に設定できます。
 - [セキュリティ(暗号化方式)]が[Enhanced Open (OWE)]または[WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)]の場合は常に[有効]です。
- **SSIDユーザーのWeb設定ツールへのアクセス**: [SSID B]を利用してWi-Fi接続している機器からの設定ツール(Webブラウザ)の表示を許可するか設定します。[インターフェース]を[SSID B]に設定しているときに設定できます。

4 [適用]をクリック

- Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- [Wi-Fi設定を初期値に戻す]をクリックすると、[Wi-Fi設定]の[基本設定]、および[詳細設定]の一部の設定を製品出荷時の状態に戻すことができます。

Wi-Fiモード

利用する周波数帯を設定します。

- 製品出荷時は[2.4 GHz]に設定されています。
- SSID A／SSID Bで利用する周波数帯が異なる場合、本端末のステータスアイコン表示エリアに[DBS]が表示されます。
- SSID Bの周波数帯を設定する場合は、あらかじめ[マルチSSID]を[有効]にしておいてください。
- 屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本端末を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。本端末を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz／5.3GHz帯無線LAN(W52／W53)を利用できます。
- 公衆無線LANとSSID Aは、5GHzの周波数帯を同時に利用することができません。
- 公衆無線LANを利用している場合は[マルチSSID]機能を利用できません。
- 5GHzの周波数帯を利用できない場合は[5 GHz]に設定できません。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [基本設定]を順にクリック

2 [インターフェース]で周波数帯を変更するSSIDを選択

3 [Wi-Fiモード]で周波数帯を選択

4 [適用]をクリック

- Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- 本端末を充電中、または有線LAN接続中に[5 GHz]に設定した場合は、[屋内]／[屋外]の選択画面が表示されます。本端末の利用場所に合わせて選択してください。選択しないで、30秒間経過すると、自動的に[屋外]に設定されます。本端末を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に、[5 GHz]に設定したときは、自動的に[屋外]に設定され、選択画面は表示されません。



- [Wi-Fi/バンド選択]で[W53]、[W56]を有効にしていた場合は、[5 GHz]に設定すると気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面が表示されます。確認が完了するまで、しばらくお待ちください。

■ 詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定ができます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [詳細設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」
- **Wi-Fiチャネル**: 利用チャネルを選択します。
 - 公衆無線LANが2.4GHz帯の周波数帯を利用している場合は、一時的に設定できません。
- **Wi-Fi帯域幅**: 帯域幅を選択します。
- **Wi-Fiバンド選択 (屋内)**: 利用する5GHzの周波数帯を選択します。
 - すべての周波数帯を無効にすることはできません。
 - [屋外]に設定し、5GHz帯の周波数帯を利用する場合は設定に関わらず[W56]が設定されます。
 - 公衆無線LANが5GHz帯の周波数帯を利用している場合は、一時的に設定できません。
- **スリープモード設定**: スリープモード設定の[有効]／[無効]を設定します。
 - スリープモードとは、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにする機能です。
 - 以下の場合、スリープモードになりません。
 - ・ 画面点灯中
 - ・ ACアダプターやクレードルで充電中
 - ・ パソコンなどとUSB接続中
 - ・ クレードルを利用して有線LAN接続中

- **スリープモードタイマー**: [スリープモード設定] が [有効] に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。
- **電池残量に連動**: 電池残量に連動の [有効] / [無効] を設定します。
 - [電池残量に連動] を [有効] にすることで、電池残量が30%未満になるまでスリープモードにならないように設定します。
- **Wi-Fi送信出力**: Wi-Fiの送信出力を選択します。

4 [適用]をクリック

- 5GHz帯でW56に含まれる144chを使用する場合は、[Wi-Fiモード] を [5 GHz] に設定し、[Wi-Fiチャネル] を [自動 (144chを含む)] に設定してください。
ただし、[自動 (144chを含む)] に設定した場合、144chに対応していないWi-Fi対応機器と通信ができなくなることがあります。

■ WPS

Wi-Fi対応機器とWPS機能を利用して接続する場合に、設定ツールからWPS接続を開始できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [WPS]をクリック

3 [開始]をクリック

- 開始後、WPS接続を止めるときは [中止] をクリックします。

4 Wi-Fi対応機器を操作して接続する

- Wi-Fi対応機器の操作については、「Wi-Fiで接続／通信する」(P.24) をご参照ください。
- WPS機能を利用した場合は、[SSID A]のみ接続可能です。[SSID B]に接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください(※P.25「アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)」)。

端末設定

本端末を利用するための各種設定を行います。

■ Web設定ツールパスワード

設定ツールのログインパスワードを設定します。

- 製品出荷時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)の下6桁の数字に設定されています。
 - ・ 本端末のIMEI情報は付属の『無線LAN初期設定シール』や本体メニューの [端末情報] をご確認ください。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [Web設定ツールパスワード]をクリック

3 [現在のパスワードを入力]、[新しいパスワードを入力]、[新しいパスワードを再入力]欄をそれぞれ入力

- [パスワードを表示]にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。

4 [適用]をクリック

■ データ通信量設定

モバイルネットワークを利用したデータ通信量について設定します。

データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウンタをリセットできます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [データ通信量設定]をクリック

3 [リセット] ▶ [はい]を順にクリック

- データ通信量は下記の条件でもリセットされます。
 - ・ 毎月1日0時以降に本端末を起動したとき
 - ・ 本端末の設定内容を製品出荷時の状態に戻したとき
 - ・ SIMカードを差し替えたとき
 - ・ 本端末で [日時自動設定] をONにしたとき
 - ・ 本端末で [日付と時刻] の設定を変更したとき

データ通信量の最大通信量(目安値)を設定する

当月使用するデータ通信量について設定します。

- 製品出荷時は「999TB」に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [データ通信量設定]をクリック
- 3 「最大通信量」(目安値)を入力
 - 単位 ([MB] / [GB] / [TB]) を選択することができます。
- 4 [適用]をクリック

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。
- 設定する最大通信量は、それ以上通信ができなくなることを示すものではありません。お使いいただく際の目安としてご利用ください。

■ 有線LAN設定

有線LAN接続時の通信速度について設定します。

- 製品出荷時は[自動]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [有線LAN設定]をクリック
- 3 [通信速度]の[自動] / [100 Mbps]をクリック
- 4 [適用]をクリック
 - 有線LAN接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。

- [100 Mbps]に設定すると、通信速度が100Mbpsまでに制限されます。

■ USBモード

USB通信規格を設定します。

- 製品出荷時は[USB 2.0]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [USBモード]をクリック
- 3 [USBモード]の[USB 3.0] / [USB 2.0]をクリック
- 4 [適用]をクリック
 - 本端末をパソコンなどとUSB接続している場合は、確認画面が表示されます。内容を確認し、[OK]を選択してください。

■ バックアップとリストア

本端末に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込んだりできます。

- ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。
- バックアップとリストアできる設定項目についてはP.58「メニュー一覧 (Webブラウザ)」

バックアップする

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップとリストア] ▶ [バックアップ]を順にクリック
- 3 画面の指示に従ってファイルを保存する

復元(リストア)する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップとリストア]をクリック
- 3 [ファイルを選択]をクリック ▶ 以前にバックアップした設定情報のファイルを選択
- 4 [リストア] ▶ [OK]をクリック
 - 設定が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

■ ソフトウェア更新

本端末のソフトウェア更新について設定します。

- ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェア更新」(P.69)をご参照ください。
- 製品出荷時は、新しいバージョンのソフトウェアの情報が届いた場合はAM4:00に自動更新するように設定されています。

自動更新に設定する

本端末が更新可能になると、設定した時刻に自動でソフトウェアを更新します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [ソフトウェア更新]をクリック

3 [自動更新]の[有効]をクリック

4 [更新時刻(時)]で自動更新する時刻を入力

- ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できません。本端末を利用しない時間帯に設定してください。

5 [適用]をクリック

すぐに更新する

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [ソフトウェア更新]をクリック

3 [更新] ▶ [OK]を順にクリック

- ソフトウェア更新が不要な場合、「新しいバージョンはありません」と表示されます。

■ オールリセット

設定内容を製品出荷時の状態に戻します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [オールリセット]をクリック

3 [オールリセット]をクリック

4 [OK]をクリック

- 本端末が自動的に再起動し、設定が製品出荷時の状態に戻ります。

■ 再起動

今すぐ再起動する

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [再起動]をクリック

3 [再起動]をクリック

4 [再起動]をクリック

- 本端末が再起動します。

自動再起動を設定する

指定した日数を経過すると、指定した時刻に再起動するように設定できます。

- 製品出荷時は、「無効」に設定されています。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック

2 [再起動]をクリック

3 [自動再起動]の[有効]をクリック

4 [自動再起動時間]欄で日数と時刻を入力

5 [適用]をクリック

端末情報

本端末に取り付けているSIMカードの電話番号やIMEI情報(端末識別番号)など、本端末の情報を確認できます。

- 1 設定ツール画面で[端末情報]をクリック

ネットワークモニターモード

本端末の電波状況や通信速度など、ネットワークに関する情報を確認できます。

- 1 設定ツール画面で[ネットワークモニターモード]をクリック
 - [情報更新]をクリックすると、情報を更新できます。

各種設定(本体メニュー)

本端末の本体メニューについて

本端末のメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末では一部の機能を設定できません。パソコンから設定ツールを利用するとすべての機能を設定できます(☞P.36「設定ツールについて」)。

操作はホーム画面から行います。



機能	説明	参照先
Wi-Fi接続	画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。	P.22
データ通信量	本端末で通信したモバイルネットワークのデータ通信量を確認できます。また、本端末で通信するデータ量の最大通信量(目安値)を設定できます。	P.53
接続リスト	本端末に接続している機器の一覧を表示します。	—
公衆無線LAN	公衆無線LANの接続について設定できます。	P.54
設定	各種機能の詳細設定をします。	P.55
端末情報	IMEI情報やソフトウェアバージョンなど、本端末の情報を確認できます。	—

■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上の[<]をタッチします。



■ ホーム画面に戻る場合

- 画面右上の[ホーム]をタッチします。



■ 項目を選択する場合

- 選択する項目をタッチします。



- [●] / [○]が表示されている場合は[●]をタッチして選択します。



- [●] / [●]が表示されている場合は[●]をタッチしてOFFに、[●]をタッチしてONに切り替えます。



データ通信量

モバイルネットワークを利用したデータ通信量について設定します。

■ データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウントをリセットできます。

1 ホーム画面で[データ通信量]

- 利用したデータ通信量が表示されます。最終リセット日も確認できます。

2 [リセット] ▶ [OK]

- データ通信量は下記の条件でもリセットされます。
 - ・ 毎月1日0時以降に本端末を起動したとき
 - ・ 本端末の設定内容を製品出荷時の状態に戻したとき
 - ・ SIMカードを差し替えたとき
 - ・ 本端末で[日時自動設定]をONにしたとき
 - ・ 本端末で[日付と時刻]の設定を変更したとき

■ データ通信量の最大通信量(目安値)を設定する

当月使用するデータ通信量について設定します。

- 製品出荷時は「999TB」に設定されています。

1 ホーム画面で[データ通信量]

2 「最大通信量」(目安値)を入力

- [MB] / [GB] / [TB]をタッチして単位を切り替えることができます。
- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。
- 設定する最大通信量は、それ以上通信ができなくなることを示すものではありません。お使いいただく際の目安としてご利用ください。

公衆無線LAN

公衆無線LANに接続し、本端末の packets 通信を利用せずにアクセスポイントとして利用します。

■ 公衆無線LANに接続する

公衆無線LANとSSID Aは、5GHzの周波数帯を同時に利用することができません。

公衆無線LANを利用している場合は[マルチSSID]機能を利用できません。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[公衆無線LAN]

2 [公衆無線LANの利用]をONに設定する

- Wi-Fi接続、マルチSSID機能についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

3 表示されているネットワークの一覧から、接続するネットワークを選択

- 選択したネットワークにセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

- 検出されたネットワークが表示されます。
- 登録されたネットワークが優先的に表示され、新しく登録したネットワークが一番上に表示されます。
- 未登録のネットワークについては、電波強度が高いものから表示されます。
- 本端末のSSIDは表示されません。

利用できる公衆無線LANをスキャンする

Wi-Fiがスリープモード(☞P.56「Wi-Fiスリープ設定」)の場合を除き、通常は定期的にバックグラウンドでスキャンしていますが、次の操作ですぐにスキャンすることができます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[公衆無線LAN]

2 [スキャン]

公衆無線LANのネットワークを追加／削除する

公衆無線LANのネットワークを追加する

公衆無線LANのネットワークを手動で追加します。最大10件まで登録することができます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[公衆無線LAN]

2 [ネットワークの追加]

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については☞P.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- SSID: ネットワーク名 (SSID) を設定します。
- セキュリティ (暗号化方式): セキュリティを選択します。
- パスワード: 使用するパスワードを指定します。[セキュリティ (暗号化方式)] を [WPA2-PSK (AES)] または [WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] に設定しているときに設定できます。

4 [OK]

- セキュリティ (暗号化方式) を [Open] にしている場合は暗号化についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。

公衆無線LANのネットワークを削除する

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[公衆無線LAN]

2 [ネットワークの削除]

3 削除するネットワークを選択▶[OK]▶[OK]

設定

モバイルネットワーク

モバイルネットワークで使用するネットワークモードやAPN/DNNプロファイルなどを設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[モバイルネットワーク]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- ネットワークモード: ネットワークモードを選択します。
- APN/DNNプロファイル選択: APN/DNNプロファイルを選択します。

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能のON/OFFや利用する周波数帯を設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fi設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- Wi-Fiの利用: 本端末のWi-Fi機能のON/OFFを設定します。
 - 以前に[Wi-Fiモード]を[5 GHz]に設定した状態でOFFに設定し、再度ONに設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面などが表示される場合があります。詳しくは「Wi-Fiモード」(P.55)をご参照ください。
- SSID A Wi-Fiモード: SSID A Wi-FiモードについてはP.55「Wi-Fiモード」
- SSID B Wi-Fiモード: SSID B Wi-FiモードについてはP.55「Wi-Fiモード」

■ Wi-Fiモード

SSID A/SSID Bで利用する周波数帯をそれぞれ設定します。

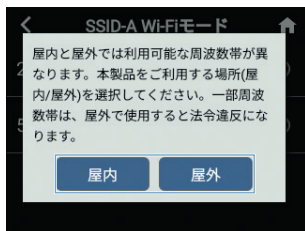
- 製品出荷時は[2.4 GHz]に設定されています。
- SSID A/SSID Bで利用する周波数帯が異なる場合、本端末のステータスアイコン表示エリアに[DBS]が表示されます。
- 公衆無線LANとSSID Aは、5GHzの周波数帯を同時に利用することができません。
- 公衆無線LANを利用している場合はマルチSSID機能を利用できません。
- 屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本端末を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。本端末を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)を利用できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fi設定]

2 [SSID A Wi-Fiモード]/[SSID B Wi-Fiモード]

3 周波数帯を選択

- Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- 本端末を充電中、または有線LAN接続中に[5 GHz]に設定した場合は、[屋内]/[屋外]の選択画面が表示されます。本端末の利用場所に合わせて選択してください。選択しないで、30秒間経過すると、自動的に[屋外]に設定されます。本端末を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に、[5 GHz]に設定したときは、自動的に[屋外]に設定され、選択画面は表示されません。



- [5 GHz]に設定した場合は、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面が表示されます。確認が完了するまで、しばらくお待ちください。

Wi-Fiスリープ設定

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするか設定します。

- 以下の場合、スリープモードになりません。
 - ・ 画面点灯中
 - ・ ACアダプターやクレードルで充電中
 - ・ パソコンなどとUSB接続中
 - ・ クレードルを利用して有線LAN接続中

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fiスリープ設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **スリープ設定**:スリープモードを利用するか設定します。
- **オフまでの時間**: [スリープ設定]がONに設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。
- **電池残量に連動**:電池残量が30%未満になるまで、スリープモードにならないように設定します。

画面ロック

ディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除時にパスワード入力が必要にするか設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[画面ロック]

2 [ロックの利用]のON/OFF

- 設定を変更した場合は、画面に従って4桁の現在のパスワード／新しいパスワードを入力し、[OK]をタッチします。
- ONに設定している場合は、[パスワード変更]をタッチし画面に従って4桁の現在のパスワード／新しいパスワードを入力し、[OK]をタッチします。

画面設定

ディスプレイの明るさや何も操作しなかった場合の画面点灯時間を設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[画面設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **画面の明るさ**:本端末のディスプレイの明るさをバーをスライドして調整します。
- **画面点灯時間**:本端末のディスプレイを何も操作しなかった場合に消灯するまでの時間を設定します。

Language Setting

ディスプレイに表示する言語を設定します。

- 製品出荷時は[日本語]に設定されています。
- 設定ツール画面の[Language]も自動的に切り替わります。(P.38「設定ツール画面の見かた」)

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Language Setting]

2 [日本語]／[English]

日時設定

現在日時について設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[日時設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.63「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **日時自動設定**:自動選択するか設定します。
- **日付と時刻**:日付と時間を手動で設定します。[日時自動設定]がOFFの場合に設定できます。
- **タイムゾーン自動設定**:自動選択するか設定します。
- **タイムゾーン選択**:タイムゾーンを手動で設定します。[タイムゾーン自動設定]がOFFの場合に設定できます。
- **24時間表示を使う**:時刻表示を24時間制で表示するか設定します。

- [日時自動設定]をONにしたり、[日付と時刻]を手動で設定すると、データ通信量がリセットされます。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新については、「ソフトウェア更新」(P.69)をご参照ください。

USBモード

USB通信規格を設定します。

- 製品出荷時は[USB 2.0]に設定されています。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[USBモード]

2 [USB 2.0]/[USB 3.0]

- 本端末をパソコンなどとUSB接続している場合は、確認画面が表示されます。内容を確認し、[OK]を選択してください。

クイック起動

ONに設定すると、次回電源を入れた際に起動までの時間を短くします。ただし、電源を切っている状態でもより多くの電力を消費します。

- 製品出荷時はONに設定されています。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[クイック起動]

2 [クイック起動]のON/OFF

Web設定ツールの表示

設定ツール画面の表示方法を確認できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Web設定ツールの表示]

ネットワークモニターモード

端末の電波状況や通信速度など、ネットワークに関する情報を確認できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[ネットワークモニターモード]

- [情報更新]をタッチすると、情報を更新できます。

メニュー一覧

メニュー一覧(Webブラウザ)

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バック アップ／ リストア	参照先
ホーム					
Language		日本語、English	日本語	○	P.38
接続端末					
接続リスト		－	－	－	P.39
MACアドレスフィルタリング					
MACアドレスフィルタリング		有効、無効	無効	○	P.39
追加					
フィルター名	32文字までの半角英数字／ 記号(,";&%+'<>?を除く) ※ 上記以外の文字について は最大10文字に制限され る場合があります。	－	○		
MACアドレス	6組の16進数2桁番号	－	○		
設定					
モバイルネットワーク設定					
ネットワーク設定					
ネットワークモード		5G (SA)	5G (SA)	○	P.40
ネットワーク検索		自動、手動	自動	○	
APN／DNNプロファイル設定					
新規					
プロファイル名		32文字までの半角英数字／ 記号 ※ 上記以外の文字について は最大10文字に制限され る場合があります。	－	○	P.40
APN／DNN名		62文字までの半角英数字／ ドット(.)／ハイフン(-)	－	○	
ユーザー名		64文字までの半角英数字／ 記号 ※ 上記以外の文字について は最大21文字に制限され る場合があります。	－	○	
パスワード		32文字までの半角英数字／ 記号 ※ 上記以外の文字について は最大10文字に制限され る場合があります。	－	○	
認証方式		None、Auto、CHAP、PAP	CHAP	○	
IPタイプ		IPv4、IPv6、IPv4／IPv6	IPv4／IPv6	○	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バック アップ／ リストア	参照先
公衆無線LAN設定					
公衆無線LANの利用		有効、無効	無効	○	P.40
スキャン		—	—	—	
＋ネットワークの追加					
ネットワーク名		32文字までの半角英数字／ 記号 ※ 上記以外の文字について は最大10文字に制限され る場合があります。	—	○	
セキュリティ (暗号化方式)		Open、Enhanced Open (OWE)、WPA2-PSK (AES)、 WPA3-SAE (AES)、WPA2- PSK／WPA3-SAE (AES)、 EAP-SIM、EAP-AKA、 EAP-AKA Prime	WPA2-PSK (AES)	○	
パスワード		8～63文字の半角英数字／ 記号 ※ [セキュリティ (暗号化方 式)] を [WPA2-PSK (AES)] に設定している場 合は、64桁の16進数 (0～ 9、A～F、a～f) に設定す ることもできます。	—	○	
PIN管理					
PINロック		有効、無効	SIMカード側で設定 されている値	—	P.41
PINを入力		4～8文字の数字	—	—	
PIN変更		4～8文字の数字	—	—	
接続履歴					
接続履歴設定		有効、無効	有効	—	P.42
削除		—	—	—	
エクスポート		—	—	—	
LAN設定					
DHCPサーバー					
ホストIPアドレス		192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168.128.1	○	P.42
ホストサブネットマスク		255.255.0.0～ 255.255.255.255	255.255.255.0	○	
DHCPサーバー		有効、無効	有効	○	
DHCP範囲		192.168.0.0～ 192.168.255.255	開始IPアドレス： 192.168.128.100 終了IPアドレス： 192.168.128.200	○	
リース時間 (分)		2～43200	1440	○	
DNS設定		ダイナミック、スタティッ ク	ダイナミック	○	
プライマリDNS		0.0.0.0～255.255.255.255	—	○	
セカンダリDNS		0.0.0.0～255.255.255.255	—	○	
追加					
IPアドレス		192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168	○	
MACアドレス		6組の16進数2桁番号	—	○	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バック アップ／ リストア	参照先
ファイアウォール					
IPアドレスフィルタリング		有効、無効	無効	○	P.42
WANポートPINGブロック		有効、無効	有効	○	
IPアドレスフィルタリング					
フィルターモード		拒否、許可	拒否	○	P.43
ルールを追加					
IPタイプ		IPv4、IPv6	IPv4	○	
プロトコル		TCP／UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP／UDP	○	
LAN IPアドレス		IPv4: 0.0.0.0～255.255.255.255 IPv6: 8組の16進数4桁番号 ※8組の番号間を「:」で区切る必要があります。	—	○	
LANポート		1～65535	—	○	
WAN IPアドレス		IPv4: 0.0.0.0～255.255.255.255 IPv6: 8組の16進数4桁番号 ※8組の番号間を「:」で区切る必要があります。	—	○	
WANポート		1～65535	—	○	
方向		OUT、IN	OUT	○	
ポートマッピング					
ポートマッピングの利用		有効、無効	無効	○	P.43
ルールを追加					
ルール名		32文字までの半角英数字／記号(、:;&%+<>?!\を除く) ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	—	○	
送信元IPアドレス(任意)		0.0.0.0～255.255.255.255	—	○	
WANポート		1～65535	—	○	
LAN IPアドレス		192.168.0.0～192.168.255.255	—	○	
LANポート		1～65535	—	○	
プロトコル		TCP／UDP、TCP、UDP	TCP／UDP	○	
ポートトリガー					
ポートトリガーの利用		有効、無効	無効	○	P.44
ルールを追加					
ルール名		32文字までの半角英数字／記号(、:;&%+<>?!\を除く) ※上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	—	○	
起動ポート		1～65535	—	○	
起動プロトコル		TCP／UDP、TCP、UDP	TCP／UDP	○	
オープンポート		1～65535	—	○	
オープンプロトコル		TCP／UDP、TCP、UDP	TCP／UDP	○	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バック アップ／ リストア	参照先
	DMZ				
	DMZ	有効、無効	無効	○	P.44
	DMZ IPアドレス	192.168.0.0～ 192.168.255.255	—	○	
	UPnP				
	UPnP-IGD	有効、無効	無効	○	P.45
	NAT				
	NATタイプ	Symmetric、Cone	Symmetric	○	P.45
	TCP NATタイマー(秒)	30～86400	300	○	
	UDP NATタイマー(秒)	30～86400	300	○	
	VPN/パススルー				
	VPN/パススルー設定	有効、無効	有効	○	P.45
	Wi-Fi設定				
	基本設定				
	Wi-Fiの利用	有効、無効	有効	○	P.46
	マルチSSID	有効、無効	無効	○	
	SSID間通信隔離	有効、無効	有効	○	
	接続可能台数	1～16	16	○	
	端末でSSIDとパスワードを表示する	オン、オフ	オン	○	
	インターフェース	SSID A、SSID B	SSID A	—	
	Wi-Fiモード	2.4 GHz、5 GHz	2.4 GHz	○	P.47
	SSID	32文字までの半角英数字／ 記号 ※ 上記以外の文字については 最大10文字に制限され る場合があります。	SSID A:SH-U01a- XXXXXX SSID B:SH-U01b- XXXXXX	○	P.46
	セキュリティ(暗号化方式)	Open、Enhanced Open (OWE)、WPA2-PSK (AES)、 WPA／WPA2-PSK (AES+TKIP)、WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK／ WPA3-SAE (AES)	WPA2-PSK／ WPA3-SAE (AES)	○	
	パスワード	8～63文字の半角英数字／ 記号 ※ [セキュリティ(暗号化方 式)]を[WPA2-PSK (AES)]、または[WPA／ WPA2-PSK (AES+TKIP)] に設定している場合は、 64桁の16進数(0～9、A～ F、a～f)に設定することも できます。	ランダムな半角10 文字	○	
	SSIDステルス	有効、無効	無効	○	
	プライバシーセパレーター	有効、無効	有効	○	
	Wi-Fi暗号化強化(PMF)	有効、無効	有効	○	
	SSID BユーザーのWeb設定 ツールへのアクセス	許可、拒否	拒否	○	
	Wi-Fi設定を初期値に戻す	—	—	—	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バックアップ／リストア	参照先
詳細設定					
Wi-Fiチャンネル		2.4GHz: 自動、CH 1～CH 13 5GHz: 自動(144chを含まない)、自動(144chを含む) ※ 圏外の場合は1～11chとなります。	2.4GHz: 自動 5GHz: 自動(144chを含まない)	○	P.47
Wi-Fi帯域幅		2.4GHz: Auto (20／40 MHz)、20 MHz 5GHz: Auto (20／40／80 MHz)、20 MHz、40 MHz	2.4GHz: Auto (20／40 MHz) 5GHz: Auto (20／40／80 MHz)	○	
Wi-Fiバンド選択(屋内)		W52、W53、W56	W52、W53、W56	○	
スリープモード設定		有効、無効	有効	○	
スリープモードタイマー		5分、10分、15分	10分	○	
電池残量に連動		有効、無効	無効	○	
Wi-Fi送信出力		高、低	高	○	
WPS		待機、実行中	待機	—	P.48
端末設定					
Web設定ツールパスワード		8～32文字の半角英数字／記号 ※ 英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める	IMEI情報(端末識別番号)の下6桁の数字	—	P.48
データ通信量設定					
最大通信量		1MB～999TB	999TB	○	P.48
リセット		—	—	—	
有線LAN設定					
通信速度		自動、100 Mbps	自動	○	P.49
USBモード					
USBモード		USB 3.0、USB 2.0	USB 2.0	○	P.49
バックアップとリストア					
バックアップ		—	—	—	P.49
リストア		—	—	—	
ソフトウェア更新					
自動更新		有効、無効	有効	○	P.50
更新時刻(時)		0～23	4	○	
更新		—	—	—	
オールリセット					
オールリセット		—	—	—	P.50
再起動					
今すぐ再起動		—	—	—	P.50
自動再起動		有効、無効	無効	○	
自動再起動時間		日数: 1～30 時刻: 00:00～23:59	日数: 30 時刻: 00:00	○	
端末情報		—	—	—	P.51
ネットワークモニターモード		—	—	—	P.51

メニュー一覧(本体メニュー)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ／リストア	参照先
Wi-Fi接続				
QRコードで接続	—	—	—	P.22
WPS	—	—	—	
手動接続				
SSID A	—	—	—	
SSID B	—	—	—	
有効	ON、OFF	OFF	○	
データ通信量				
リセット	—	—	—	P.53
データ通信量設定	1MB～999TB	999TB	○	
接続リスト	—	—	—	P.52
公衆無線LAN				
公衆無線LANの利用	ON、OFF	OFF	○	P.54
ネットワークの追加				
SSID	32文字までの半角英数字／記号	—	○	P.54
セキュリティ(暗号化方式)	Open、Enhanced Open (OWE)、WPA2-PSK (AES)、WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK／WPA3-SAE (AES)、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-AKA Prime	WPA2-PSK (AES)	○	
パスワード	8～63文字の半角英数字／記号 ※[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK (AES)]に設定している場合は、64桁の16進数(0～9、A～F、a～f)に設定することもできます。	—	○	
ネットワークの削除	—	—	—	P.54
スキャン	—	—	—	P.54
設定				
モバイルネットワーク				
ネットワークモード	5G (SA)	5G (SA)	○	P.55
APN／DNNプロファイル選択	—	—	○	
Wi-Fi設定				
Wi-Fiの利用	ON、OFF	ON	○	P.55
SSID A Wi-Fiモード	2.4 GHz、5 GHz	2.4 GHz	○	P.55
SSID B Wi-Fiモード	2.4 GHz、5 GHz	2.4 GHz	○	
Wi-Fiスリープ設定				
スリープ設定	ON、OFF	ON	○	P.56
オフまでの時間	5分、10分、15分	10分	○	
電池残量に連動	ON、OFF	OFF	○	
画面ロック				
ロックの利用	ON、OFF	OFF	○	P.56
パスワード変更	4文字の数字	—	○	

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バック アップ／ リストア	参照先
画面設定				
画面の明るさ	10%～100%（スライダーの可動範囲）	30%	○	P.56
画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、90秒、120秒	90秒	○	
Language Setting	日本語、English	日本語	○	P.56
日時設定				
日時自動設定	ON、OFF	ON	○	P.56
日付と時刻				
年	2021～2037	現在の年	○	P.56
月	01～12	現在の月	○	
日	01～31	現在の日	○	
時	00～23	現在の時	○	
分	00～59	現在の分	○	
タイムゾーン自動設定	ON、OFF	ON	○	P.56
タイムゾーン選択	各国のタイムゾーン	GMT+09:00	○	
24時間表示を使う	ON、OFF	ON	○	
ソフトウェア更新				
自動更新	ON、OFF	ON	○	P.69
更新時刻	0～23	4	○	
ソフトウェアバージョン	—	—	—	
ソフトウェア更新	—	—	—	
USBモード	USB 2.0、USB 3.0	USB 2.0	○	P.57
クイック起動	ON、OFF	ON	○	P.57
Web設定ツールの表示	—	—	—	P.57
ネットワークモニターモード	—	—	—	P.57
端末情報	—	—	—	P.52

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.69「ソフトウェア更新」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池切れになっていませんか。(☞P.16「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - □ (電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
 - 手を離すと、電源が切れます。
 - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - ACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
 - ACアダプターと本端末が正しくセットされていますか。(☞P.17「ACアダプターで充電」)
 - ACアダプターのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。必ず付属のACアダプターをご使用ください。(☞P.17「ACアダプターで充電」)
 - USB3.0ケーブルA to Cをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.16「充電時のご注意」)
 - 付属のACアダプターで充電していますか。指定したACアダプターで充電しても充電ができない場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.16「充電時のご注意」)
- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
圏外が続く場所では電源を切ってください。(☞P.18「電源を切る／再起動する」)
 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(☞P.70「主な仕様」)
 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても、ご使用を開始された時期の頃に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(☞P.68)をご確認ください。
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。(☞P.18「電源を入れる」)
- USB接続ケーブルで接続したパソコンが本端末を認識しない
 - 本端末が、USB3.0ケーブルA to Cで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。(☞P.35「USB接続ケーブルで接続／通信する」)
 - USB3.0ケーブルA to Cをパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
 - USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- SIMカードが認識しない
 - SIMカードを正しい向きで挿入していますか。(☞P.14「SIMカード」)
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時自動設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。(☞P.56「日時設定」)

■ 接続、通信

- Wi-Fi対応機器を接続できない
 - 本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がONになっていることを確認してください。また、Wi-Fi対応機器のWi-Fi仕様が本端末と合致しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。(P.23「対応機器を確認する」)
 - 正しいパスワードを入力しているか、確認してください。パスワードは下記の操作で確認できます。
ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続] ([SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。)
 - [セキュリティ (暗号化方式)] を [WPA2-PSK (AES)] または [WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)]、[WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] に設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPAおよびWPA2-PSK、WPA3-SAEのセキュリティ (暗号化方式) に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。
 - Wi-Fi対応機器によっては、ステルス機能やPMF (Wi-Fi暗号化強化) に対応していません。
Wi-Fi接続できないときは、設定ツールから[設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [基本設定] の[SSIDステルス]と[Wi-Fi暗号化強化 (PMF)]を[無効]に設定してから、再度Wi-Fi接続し直してください。(P.46「基本設定」)
 - WPSによる接続ができない場合、お使いのWi-Fi対応機器によっては、本端末の[SSID A]の[セキュリティ (暗号化方式)]を変更することでWPSによる接続ができる場合があります。
- 有線LAN接続できない
 - 接続機器の通信速度の設定を自動認識にし、再度接続してください。
- インターネットに接続ができない(場所を移動しても[圏外]の表示が消えない) / 通信が切れたり、通信速度が遅く感じる
 - 電源を入れ直すか、SIMカードを入れ直してください。(P.18「電源を入れる / 切る」、P.14「SIMカード」)
 - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[ - 時間帯によっては、電波の混み具合により、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間を置いて再度接続してください。
- [圏外]が表示される
 - スリープモードになったあと、何も操作しない状態で約30分経過すると、モバイルネットワークを切断して省電力状態になります。□ (電源キー) を押し画面を点灯したり、充電を開始すると、モバイルネットワークに接続します。
- 接続 / 切断したWi-Fi対応機器の表示が変わらない
 - 本端末にWi-Fi対応機器を接続、本端末からWi-Fi対応機器を切断しても接続台数の表示などが変わらないことがあります。数分経過すると正しく表示されます。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - [画面点灯時間] を短く設定していませんか。(P.56「画面設定」)
 - [画面の明るさ] を変更していませんか。(P.56「画面設定」)

エラーメッセージ

■ 本端末の表示

- [PINロック解除コード (PUK) が無効です]
 - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。
- [PINロック解除コード (PUK) がロックされています。法人コールセンターまでお問合せをお願いします。]
[PINロック解除コード (PUK) の入力回数が最大数に達しました。法人コールセンターまでお問合せをお願いします。]
 - PINロック解除コードの入力を、10回連続間違った場合に表示されます。(P.16「PINロックを解除するとき」)
- [外部接続端子部が高温です。ケーブルを抜いてください。]
 - 接続端子部が高温になっています。付属のACアダプターやUSB接続ケーブルを抜き、接続端子部の温度が下がってからご使用ください。
- [充電エラー]
 - 充電中にエラーが発生しています。「故障かな? と思ったら」の「充電」の内容を確認してください。(P.65「故障かな? と思ったら」)
- [ソフトウェアは最新です]
 - ソフトウェアを更新しようとした際に、現在の利用しているソフトウェアが最新状態のときに表示されます。そのままご使用ください。(P.69「ソフトウェア更新を行う」)
- [パスワードが一致しません]
 - [ロックの利用] の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なります。正しいパスワードを入力してください。(P.56「画面ロック」)
- [本体が高温になっています。温度を下げるため、通信速度を制限します。画面に- 高温時に温度を下げるため、通信速度を制限する場合に表示されます。高温による通信速度制限中は、ステータスアイコン表示エリアにアイコン(

- [本体が高温になっています。温度を下げるため、機能制限することがあります。画面にが表示されている間は通信できない場合があります。]
 - 高温時に温度を下げるため、本体の機能を制限する場合に 표시됩니다。高温による機能制限中は、ステータスアイコン表示エリアにアイコンが表示されます。(☞P.19「画面の見かた」)
- [本体が高温になっています。さらに高温が続く場合、シャットダウンすることがあります。]
 - 高温時は、一時的に機能制限がかかる場合があります。本体の温度が下がってからご使用ください。

■ 設定ツール(Webブラウザ)の表示

- [PINが一致しません]
 - PINコードが正しくありません。正しいPINコードを入力してください。
- [PINロック解除コード(PUK)が正しくありません]
 - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。
- [TCP NATタイマー(秒)は無効です。TCP NATタイマー(秒)の範囲は30-86400です。]
 - [UDP NATタイマー(秒)は無効です。UDP NATタイマー(秒)の範囲は30-86400です。]
 - [TCP NATタイマー(秒)]/[UDP NATタイマー(秒)]に入力している数値が設定できない数値になっています。30～86400(分)の範囲で入力してください。(☞P.45「NAT」)
- [新しいパスワードが一致しません]
 - [Web設定ツールパスワード]の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なっています。正しいパスワードを入力してください。(☞P.48「Web設定ツールパスワード」)
- [現在のパスワードが間違っています]
 - [Web設定ツールパスワード]の[現在のパスワードを入力]が異なります。正しいパスワードを入力してください。(☞P.48「Web設定ツールパスワード」)
- [終了IPアドレスは開始IPアドレス以降に設定する必要があります]
 - [DHCP範囲]で終了IPアドレスが開始IPアドレス以前に設定されています。終了IPアドレスを開始IPアドレス以降に設定してください。(☞P.42「DHCPサーバー」)
- [予約IPアドレスが重複しています]
 - 同じIPアドレスが複数のMACアドレスに割り当てられています。異なるIPアドレスを入力してください。(☞P.42「DHCPサーバー」)
- [予約IPアドレスが範囲外となるためDHCP範囲を変更できません]
 - [DHCP範囲]に入力している数値が設定できない数値になっています。[予約IPアドレス]のIPアドレスを含んだ範囲に設定してください。(☞P.42「DHCPサーバー」)
- [リース時間は2分以上43200分(30日)以下にしてください]
 - [リース時間(分)]に入力している数値(分)が設定できない数値になっています。2～43200(分)の範囲で入力してください。(☞P.42「DHCPサーバー」)
- [ルールが重複しています(ポートトリガーのオープンポートが重複)]
 - [WANポート]に入力したポート番号は、[ポートトリガー]の[オープンポート]に設定されています。異なるポート番号を入力してください。(☞P.44「ポートトリガー」)
- [ルールが重複しています(ポートマッピングのWANポートが重複)]
 - [オープンポート]に入力したポート番号は、[ポートマッピング]の[WANポート]に設定されています。異なるポート番号を入力してください。(☞P.43「ポートマッピング」)
- [ログインするために本製品の画面を消してください]
 - 本端末のディスプレイが表示されています。本端末のディスプレイが表示されていると、設定ツールを利用できません。本端末のディスプレイを非表示にしてください。(☞P.18「ディスプレイの表示/非表示」)

保証とアフターサービス

保証について

保証については、付属の「ご利用にあたっての注意事項」に記載の「保証について」をご確認ください。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 「ご利用にあたっての注意事項」に記載の【無料修理規定】記載内容の範囲で無料修理いたします。
- 消耗品や試供品は無料修理保証の対象外です。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって設定された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、設定などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
※本端末は、設定された内容などのデータをパソコンに保存していただくことができます。【P.49「バックアップとリストア」】
- 付属のACアダプター以外のアダプターを接続して使用になられた場合は、保証対象外です。
- 本製品（付属品含む）動作保証環境外でご使用された場合は、保証対象外です。

アフターサービスについて

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品の、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

それでも異常があるときは、使用を止めて、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

「ご利用にあたっての注意事項」に記載の「保証について」の修理規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
火災・けが・故障の原因となります。
改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお願いいたします。
ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やボタン部、キー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェア更新の種類としては以下の2つがあります。

- 新機能追加
端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容および期間については、当社のホームページをご覧ください。

■ ご利用条件

- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェア更新は、本端末に設定された内容を残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

ソフトウェア更新を行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの方法で行います。

- 自動的に更新
本端末が更新可能になると、設定した時刻に自動でソフトウェアを更新します。
あらかじめ、[ソフトウェア更新]の[自動更新]をONに設定してください。
また、[更新時刻] ▶ 更新する時刻を選択 ▶ ☒ と操作して更新時刻を設定してください。
- すぐに更新する
ホーム画面を左にスワイプ ▶ [設定] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [更新] ▶ [OK]
※ソフトウェア更新が不要な場合、[ソフトウェアは最新です]と表示されます。
※再起動についての確認画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

- ソフトウェア更新は設定ツールからも同様に操作できます (※P.50「ソフトウェア更新」)。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。

2 再起動

- 本端末が自動で再起動されます。

■ 注意事項

- ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新中、本端末固有の情報(機種や製造番号など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- 再起動中は各種機能を利用できません。
- ソフトウェア更新を行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードの入力を求められる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- 以下の場合はソフトウェア更新ができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 必要な電池残量がないとき
 - [圏外]が表示されているとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

ソフトウェア更新などにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

品名	SH-U01	
サイズ	高さ:約74mm、幅:約108mm、厚さ:約15.7mm(最厚部:約15.8mm)	
重量	約166g	
ディスプレイ	サイズ	約2.4インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	Quarter VGA (320×240)
	発色数	262,144色
バッテリー容量	4000mAh※1	
通信速度(5G)	受信時最大2.1Gbps 送信時最大113Mbps	
USB※2	USB 3.1 Gen 1 Super Speed (Type-C端子)	
無線LAN最大伝送速度	IEEE802.11a:最大54Mbps IEEE802.11b:最大11Mbps IEEE802.11g:最大54Mbps IEEE802.11n(Wi-Fi 4):最大300Mbps(2.4GHz帯、5GHz帯) IEEE802.11ac(Wi-Fi 5):最大867Mbps IEEE802.11ax(Wi-Fi 6):最大573Mbps(2.4GHz帯)、最大1201Mbps(5GHz帯)	
最大同時接続台数	17台(Wi-Fi:16台、USBもしくは有線LAN:1台)	
VPN対応プロトコル	PPTP、L2TP、IPSec	

※1 ただし電池劣化抑制のため充電電圧を下げています。実際使用可能な容量は約2500mAhです。

※2 最大伝送速度は、USB3.0接続時に最大5Gbps、USB2.0接続時に最大480Mbpsとなります。

■ ACアダプター

電源	AC100V～240V、0.8A、50／60Hz共用
出力電圧・出力電流	DC 5.0V 3.0A／7.0V 3.0A／9.0V 3.0A／12.0V 2.25A (PDO) DC 3.3～11.0V 3.0A (PPS)
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ(幅×高さ×奥行)	約40×78×28mm(電源プラグ、突起部除く)
ケーブルの長さ	約1.5m

■ クレードル

サイズ	高さ:約33mm、幅:約81mm、厚さ:約65mm
質量	約60g
入力電圧／電流	DC5.0V／3.0A
出力電圧／電流	DC5.0V／1.5A
有線LAN方式	IEEE802.3ab(1000BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX)

■ SIM取り出しツール(試供品)

長さ	約28mm
質量	約0.5g

本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【SH-U01】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{※1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法^{※3}で使用した場合のSARの最大値は0.647W/kg^{※2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。
- ※2 携帯電話サービスと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※3 この製品を人体の近くでご使用になる場合
この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から1.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
- 世界保健機関
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This data communication device 【SH-U01】 is compliant with the Japanese technical regulation* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency energy have established permitted levels of radio frequency energy, based on the standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value stipulated in the international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 0.647 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use close to the body

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)
- World Health Organization
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPad、iPhone、iPod touch、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。
- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®（WPA）、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromeは、Google LLCの商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Home、Pro、Enterprise、Education）の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>
- GPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

あ

安全上のご注意(必ずお守りください).....	5
一般的なWi-Fi対応機器を接続する.....	24
インターフェース.....	46
英数字と記号の入力.....	20
オープンプロトコル.....	44
オープンポート.....	44
おふまでの時間.....	56
主な仕様.....	70

か

各部の名称と機能.....	13
画面設定.....	56
画面点灯時間.....	56
画面の明るさ.....	56
画面の見かた.....	19
画面ロック.....	56
起動プロトコル.....	44
起動ポート.....	44
クイック起動.....	57
公衆無線LAN.....	54
公衆無線LAN設定.....	40

さ

充電.....	16
スリープ設定.....	56
スリープモード設定.....	47
スリープモードタイマー.....	48
セカンダリDNS.....	42
セキュリティ(暗号化方式).....	41、46、54
接続可能台数.....	46
接続端末.....	39
接続リスト.....	39
設定.....	40、55
設定ツール画面の見かた.....	38
設定ツールについて.....	36
設定ツールを表示する.....	37
セットアップについて.....	22
送信元IPアドレス(任意).....	43
ソフトウェア更新.....	69

た

対応機器を確認する.....	23
対応するWebブラウザ.....	36
タイムゾーン自動設定.....	56
タイムゾーン選択.....	56
タッチパネルの使いかた.....	20
端末情報.....	51
端末設定.....	48
端末でSSIDとパスワードを表示する.....	46
知的財産権について.....	73
データ通信端末の比吸収率(SAR)について.....	71
データ通信量.....	53
電源を入れる/切る.....	18
電池残量に連動.....	48、56
トラブルシューティング(FAQ).....	65
取り扱い上のご注意.....	10

な

日時自動設定.....	56
日時設定.....	56
認証方式.....	40
ネットワーク検索.....	40
ネットワーク名.....	41
ネットワークモード.....	40、55
ネットワークモニターモード.....	57

は

パスワード.....	40、41、46、54
パソコンに接続して充電.....	17
日付と時刻.....	56
プライバシーセパレーター.....	46
プライマリDNS.....	42
プロトコル.....	43、44
プロファイル名.....	40
方向.....	43
保証とアフターサービス.....	68
ホストIPアドレス.....	42
ホストサブネットマスク.....	42
本端末のご利用について.....	2
本端末の本体メニューについて.....	52

ま

マルチSSID.....	46
メニュー一覧.....	58
メニュー一覧(Webブラウザ).....	58
メニュー一覧(本体メニュー).....	63
目次.....	1
モバイルネットワーク.....	55
モバイルネットワーク設定.....	40

や

ユーザー名.....	40
輸出管理規制.....	73
予約IPアドレス.....	42

ら

リース時間(分).....	42
ルール名.....	43、44

英数字

ACアダプターで充電.....	17
Android搭載端末を接続する.....	30
APN/DNNプロファイル選択.....	55
APN/DNN名.....	40
DHCPサーバー.....	42
DHCP範囲.....	42
DMZ.....	44
DMZ IPアドレス.....	44
DNS設定.....	42
iPhone/iPod touch/iPadを接続する.....	33
IPアドレスフィルタリング.....	42
IPタイプ.....	40、43
Language Setting.....	56
LAN IPアドレス.....	43
LAN設定.....	42
LANポート.....	43、44
MACアドレスフィルタリング.....	39
Macを接続する.....	28
NAT.....	45

NATタイプ	45
PIN管理	41
PINロック	41
PINを入力	41
SIMカード	14
SSID	46、54
SSID A Wi-Fiモード	55
SSID B Wi-Fiモード	55
SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス	46
SSID間通信隔離	46
SSIDステルス	46
TCP NATタイマー(秒)	45
UDP NATタイマー(秒)	45
UPnP	45
UPnP-IGD	45
USB接続ケーブルで接続／通信する	35
USBモード	57
VPN/パススルー	45
VPN/パススルー設定	45
WAN IPアドレス	43
WANポート	43
WANポートPINGブロック	42
Web設定ツールの表示	57
Wi-Fi暗号化強化(PMF)	46
Wi-Fiスリープ設定	56
Wi-Fi設定	46、55
Wi-Fi送信出力	48
Wi-Fi帯域幅	47
Wi-Fiチャンネル	47
Wi-Fiで接続／通信する	24
Wi-Fiの利用	46、55
Wi-Fiバンド選択(屋内)	47
Windowsを接続する	26
24時間表示を使う	56

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、操作をすることは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点等ございましたら、お求めになったご販売店にご連絡ください。



製造元 シャープ株式会社